





周辺現状と課題（外部要因）

○茨城県北振興チャレンジプラン

この計画では、「奥久慈清流里山ゾーン」での交流人口の拡大や地域の活性化が位置づけられている。那珂市は、国道 118 号や国道 349 号により、これらの地域への玄関口となるとともに、産業・観光の交流基盤となる「水戸外環状道路」が位置づけられている。

奥久慈清流里山ゾーンにおける取組

- **意欲ある農業者の経営発展を支援するとともに、観光との連携等による地域特性を活かした農林水産業の振興を図ります**
 - ・和牛子牛生産拡大のための公共牧場の運営支援、優良繁殖雌牛導入等の支援、常陸牛販路拡大のための米国向け輸出の取組
 - ・付加価値の高い有機農産物を生産するモデル団地の整備、牛ふん堆肥を活用した地域循環型の土づくり等の支援
 - ・専門家派遣による農業経営の規模拡大・法人化の支援、農地等の情報提供による企業の農業参入支援
 - ・高収益農業に取り組む園芸団地の整備
 - ・天然アユ等を活用したアユ釣り体験教室の開催支援、アユを活用した観光産業との連携方策等の検討
 - ・地域資源の掘り起こし等を通して都市農村交流活動をビジネス展開できる人材の育成、農業農村体験モニターツアーの実施
- **豊かな自然環境等を活かした新しい滞在・体験型のツーリズムを推進します**
 - ・奥久慈里山ヒルクライムルートなどサイクルツーリズム推進に向けたプロモーション、国内への情報発信
 - ・山間部等における魅力あるサイクリングコースの環境整備
- **地域主体の創意工夫を活かしたまちづくりを促進します**
 - ・市町が主体的に実施する人づくり・産業振興・地域振興等の取組に対する支援
- **持続可能な公共交通ネットワークの形成を図ります**
 - ・JR水郡線の利用促進及び沿線地域の活性化
- **山間部の特色を活かした新たなリゾートについて、IRの可能性も含め検討します**
 - ・国内外から県北山間地域に誘客を促進するための新たなリゾートに関する調査・研究等

○地方への関心の高まり

従来からの都市と農村の交流に加え、With コロナ時代における働き方や住まい方の変化も予想されている。

○産業系土地利用需要の動向

茨城県全体では産業立地が進んでいるが、T X 沿線や圏央道沿道等の県南、県西地域が中心で、県北地域の需要は少ない。